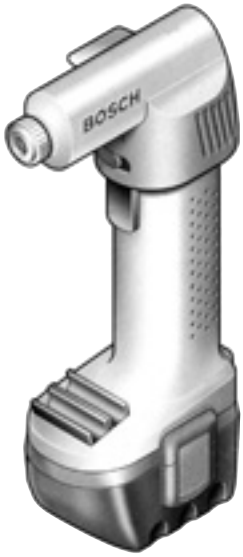
BOSCH

DIY 電動工具

バッテリーエアポンプ

PAG 14.4V



取扱説明書

用　途：自転車・バイク・自動車のタイヤへの空気入れ
その他レジャー用具やボールへの空気入れ

このたびはボッシュ・バッテリーエアポンプをお買い求めいただき、ありがとうございます。

- ご使用になる前に、この［取扱説明書］をよくお読みになって、正しくお使いください。
- お読みになった後は大切に保管し、わからないことが起きたとき、もう一度お読みください。
- 充電については、充電器の取扱説明書を併せてお読みください。

目　　次

安全上のご注意

警　　告 —— 2
注　　意 —— 3

本機使用上のご注意

警　　告 —— 6
注　　意 —— 6

ご使用前に —— 7
各部の名称 —— 8
バッテリー —— 9
各部の操作 —— 11
作業のヒント —— 15
アクセサリー —— 16
メンテナンス —— 17
故障かな？と思ったら —— 18
リサイクル —— 20
仕　　様 —— 23

注意文の ⚠警 告 、⚠注 意 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警 告 と ⚠注 意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警 告 ： 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注 意 ： 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容のご注意。

なお、⚠注 意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

● お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

安 全 上 の ご 注 意

⚠ 警　告

①専用の充電器やバッテリーを使用してください。

- 指定以外の充電器でバッテリーを充電しないでください。取扱説明書に記載してあるバッテリー以外は、充電しないでください。破裂して傷害や損傷を及ぼす恐れがあります。

②正しく充電してください。

- 充電器は定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し火災の恐れがあります。
- 温度０℃未満、あるいは温度が40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。バッテリーや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。感電や火災の恐れがあります。

③バッテリーの端子間を短絡させないでください。

- 釘袋等に入れると、短絡して発煙、発火、破裂等の恐れがあります。

④感電に注意してください。

- ぬれた手で電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。

⑤作業場の周囲状況も考慮してください。

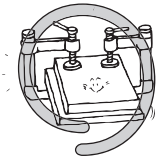
- バッテリー工具、充電器、バッテリーは、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
- 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は事故の恐れがあります。
- 可燃性の液体やガスのある場所で使用したり、充電したりしないでください。爆発や火災の恐れがあります。

⑥保護メガネを使用してください。

- 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

⑦加工するものをしっかりと固定してください。

- 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手でバッテリー工具を使用できます。固定が不十分な場合は加工するものが飛んでけがの恐れがあります。



⑧つぎの場合は、バッテリー工具のスイッチを切り、バッテリーを本体から抜いてください。

- 使用しない、または、修理する場合。
- 刃物、ビット等の付属品を交換する場合。
- その他危険が予想される場合。
- 本体が作動してけがの恐れがあります。

⑨不意な始動は避けてください。

- スイッチに指を掛けて運ばないでください。本体が作動してけがの恐れがあります。

⑩指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- 本取扱説明書及びボッシュカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。事故やけがの原因となる恐れがあります。

⑪バッテリーを火中に投入しないでください。

- 破裂したり有害物質の出る恐れがあります。

⑫防音保護具を着用してください。

- 騒音の大きい作業では、耳栓・耳覆い（イヤマフ）等の防音保護具を着用してください。

⚠ 注　意

①作業場は、いつもきれいに保ってください。

- ちらかった場所や作業台は、事故の恐れがあります。

②子供を近づけないでください。

- 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。けがの恐れがあります。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの恐れがあります。

③使用しない場合は、きちんと保管してください。

- 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の恐れが

④無理して使用しないでください。

- 安全に能率よく作業するために、バッテリー工具の能力に合った作業をしてください。能力以上でのご使用は事故の恐れがあります。
- モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。

⑤作業に合ったバッテリー工具を使用してください。

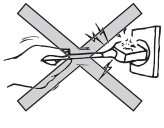
- 小型のバッテリー工具やアタッチメントは、大型のバッテリー工具で行う作業には使用しないでください。事故や故障の恐れがあります。
- 指定された用途以外に使用しないでください。事故や故障の恐れがあります。

⑥きちんとした服装で作業してください。

- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。すべりやすい手袋や履物は事故につながる恐れがあります。

⑦充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。



- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。感電やショートして発火する恐れがあります。

⑧無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。転倒するとけがの恐れがあります。

⑨バッテリー工具は、注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために、アクセサリー類は常に手入れをしてください。状態の悪いものを使用すると、事故や故障の原因になります。
- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。事故や故障の原因になります。
- 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。感電やショートして発火する恐れがあります。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電やショートして発火する恐れがあります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。事故の原因になる恐れがあります。

⑩屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- 屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⑪油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- バッテリー工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。軽率な行動をすると事故やけがの恐れがあります。
- 常識を働かせてください。非常識な行動をすると事故やけがの恐れがあります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの恐れがあります。

⑫損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
  部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電やショートして発火する恐れがあります。
- 損傷した部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店や修理認定工場に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできないバッテリー工具は、使用しないでください。異常動作してけがをする恐れがあります。

⑬バッテリー工具の修理は、専門店に依頼してください。

- サービスマン以外の人は本体、充電器、バッテリーを分解したり、修理・改造は行わないでください。発火したり、異常動作してけがをする恐れがあります。
- 本体が熱くなったり異常に気付いた時は点検修理に出してください。
- 本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店または修理認定工場にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

本機使用上のご注意

⚠ 警告

- **高所作業の時は下に人がいないことをよく確かめてください。**
  機体などを落としたときなど、事故の原因になります。

- **使用中、機体の調子が悪かったり異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店又はボッシュ修理認定工場に点検、修理を依頼してください。**
  そのまま使用していると、事故の原因になります。

- **本機の圧力表示は目安値です。車のタイヤ等への作業後は、必ず専門の圧力測定器で確認してください。**
  事故の原因になります。

- **誤って落したり、ぶつけたときは、工具類や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**
  破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。

⚠ 注意

- **噴射される空気を、直接人や動物に向けないでください。**
  けがの恐れがあります。

- **バッテリー２個をこえる連続使用はしないでください。**
  機体が温度上昇し、低温やけどする恐れがあります。

- **本機の連続運転時間は最大 10 分間です。10 分間使用した後は、本機を冷ましてください。**
  機体が温度上昇し、事故や故障の原因になります。

- **先端アクセサリー（アダプター類）は正しく接続してください。**
  合わないアダプターは無理に使用しないでください。故障や破損の原因にもなります。

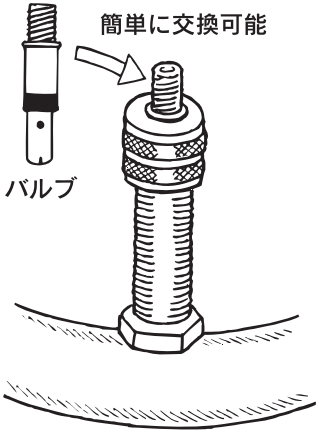
- **空気充填中・充填後の先端アダプター類（自在チューブ含む）は高温になっている場合がありますので注意をしてください。（特に高圧・連続使用時に注意！）**
  火傷の恐れがあります。

ご 使 用 前 に

- 本機は、自動車・バイク・自転車用タイヤへの空気の補充（空状態のタイヤへの充填には不適当です）あるいは球技用ボール・レジャー用品等への空気入れ用として設計されています。
  よってゴムボートやエアベッド等の多量の空気を必要とする用途には適していません。
  また、業務的な過酷な使用にも適していません。

- 空気を入れる対象物の空気圧を確認してください。
  本機の許容最大空気圧は1MPa（10bar）です。
  許容最大空気圧を上回る空気圧が必要な用途には使用できません。
  また、本機の圧力ディスプレイに表示される空気圧値は目安値です。正確な空気圧測定には適していません。

- **自転車タイヤの英式チューブ（※注）で、一部使用できない物があります。その際にはバルブ交換が必要ですので、下記バルブを最寄りの自転車販売店等でお買い求めください。**



英式チューブ（※注）

（推奨バルブ）

●ナショナル

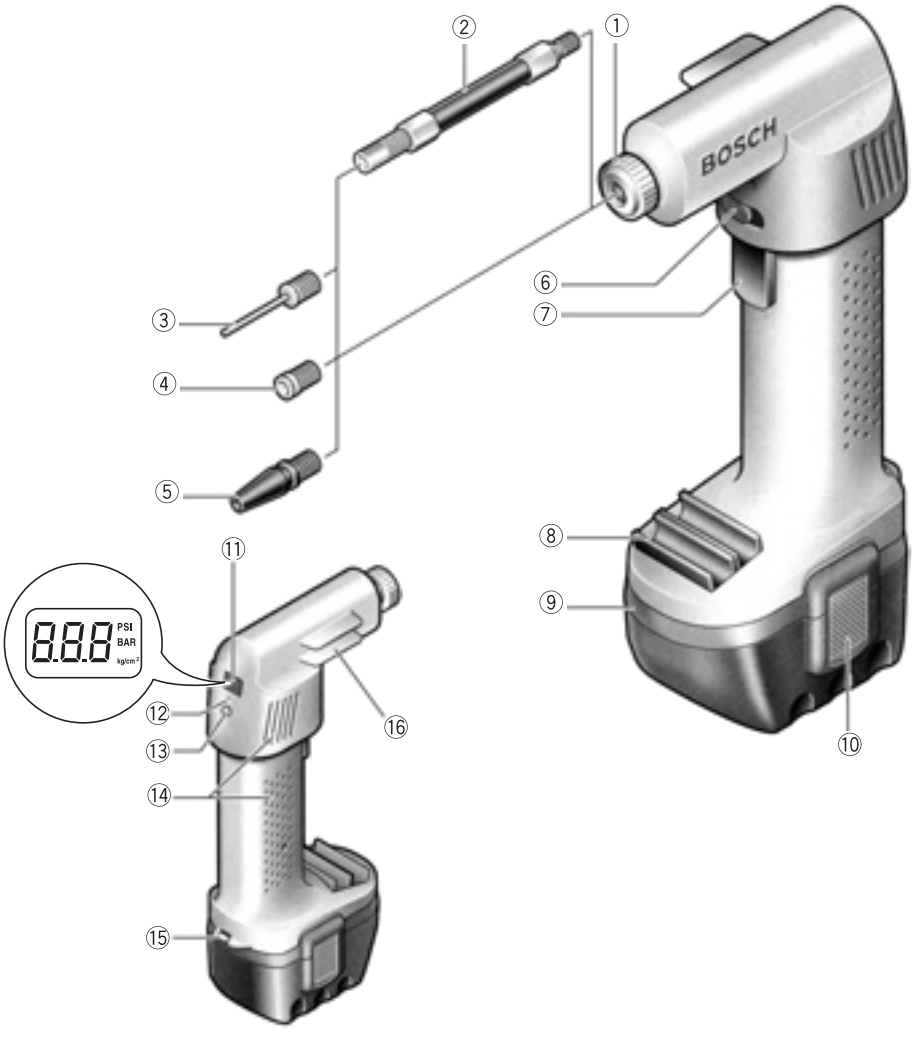
「自転車用楽々バルブセット」…バルブ２個入り

●マルキン自転車

「スーパーバルブ（虫ゴム不要）」…バルブ１個入り

尚、ご不明な点は弊社までおたずねください。

各 部 の 名 称



① スクリューキャップ
② 自在チューブ
③ ボールアダプター
④ バルブアダプター
⑤ ビーチボールアダプター
⑥ 安全ロックスイッチ
⑦ メインスイッチ
⑧ アダプターホルダー
⑨ バッテリー
⑩ バッテリー取りはずしボタン
⑪ 圧力ディスプレイ
⑫ リセットボタン
⑬ 圧力ディスプレイボタン
⑭ 通気口
⑮ キャリングループ取り付け部
⑯ 自在チューブホルダー

このイラスト内の形状は、実際の形状と異なる場合があります。

バ ッ テ リ ー

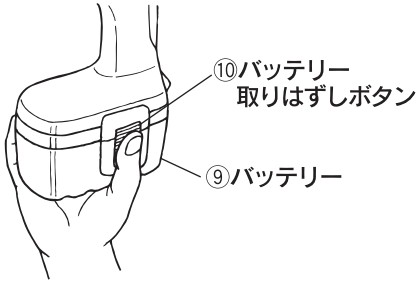
⚠注 意 ： ● **バッテリーに強い衝撃等を与えないでください。**
● **バッテリーを保管･移動させる場合は、バッテリー端子間のショートを防ぐため必ず端子部にカバー（絶縁テープ等）をしてください。**
● **本機の使用電圧とバッテリーの電圧が一致していることを確認してください。**

バ ッ テ リ ー の 着 脱

⚠注 意 ： ● **安全ロック切替スイッチ⑥を必ずロック状態にして行ってください。**

取りはずし

バッテリー取りはずしボタン⑩を両側から軽く押しながらバッテリー⑨を抜き取ります。



取り付け

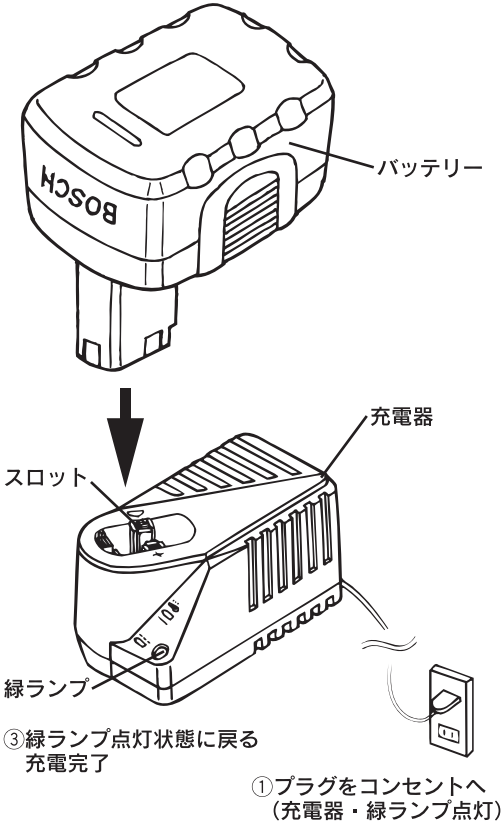
バッテリー⑨を機体のグリップの差し込み口にカチっと音がするまで押し込んでください。

⚠注 意 ： ● **不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。**

バ ッ テ リ ー の 充 電

ニカドバッテリーの特性として、ご購入いただいてすぐ、ならびに、長期間未使用の場合、完全に充電できないことがあります。その場合、約５回程度の充電・完全放電を繰り返すことによってバッテリーは活性化し充分な能力を発揮します。（完全に充電できるようになります。）

⚠注 意 ： ● **バッテリーの充電については、充電器の取扱説明書を併せてお読みください。**



①充電器のプラグをコンセントに差し込みます。このとき充電器の緑ランプが点灯します。

②抜き取ったバッテリーを充電器のスロットに差し込みます。緑ランプは点滅に変わります。

＜ご注意！＞
バッテリーが熱くなりすぎたり、逆に冷えすぎている場合、充電を開始しません。このとき、緑ランプは点灯したままです。
バッテリーが適正温度（0～45℃）になった時点で充電器は自動的に充電を開始します。
但し、熱くなりすぎたバッテリーは、できるだけ冷めてから充電を行ってください。

③点滅していた緑ランプが点灯に変わったら充電完了です。

- バッテリーの標準充電時間は約50分ですが電源電圧及びバッテリーの状態により多少変動することがあります。尚、規定時間を大幅に越えた充電はおこなわないでください。
- バッテリーは温度モニターを内蔵し約1,000回までの再充電を可能にするよう設計されていますが、実際の寿命はご使用条件により変わります。
- バッテリーの寿命を長くするためには必ず電池容量が空になってから充電をおこなってください。
- 正しく充電しても使用能力が著しく低下するようになった場合はバッテリーの寿命がきたものとお考えいただき、最寄りの販売店にて新品バッテリーをお求めください。

安全ロックスイッチの操作

安全ロックスイッチ⑥メインスイッチ（入／切）のロック及びロック解除を行います。

ロック ： **安全ロックスイッチを向かって左側へスライドさせます。**

メインスイッチは入りません。
（但し、一定以上の力がメインスイッチにかかると、メインスイッチは 入 状態になりますが故障ではありません。）

ロック解除 ： **安全ロックスイッチを向かって右側へスライドさせます。**

メインスイッチは入ります。

⚠注 意 ： 作業時以外およびバッテリーやアクセサリー交換時には必ずロック状態にしてください。

メインスイッチの 入/切

スイッチの入／切はメインスイッチ⑦で行います。

スイッチ 入 ：メインイッチ⑦を引きます

スイッチ 切 ：メインイッチ⑦を解放します

圧力ディスプレイの見方

⚠注 意 ：● 圧力ディスプレイに表示される空気圧はあくまでも目安値です。正確な空気圧値が必要な場合には、専門の空気圧測定器等で測定をしてください。

圧力ディスプレイボタン⑬を押すことにより、圧力ディスプレイ⑪を見ることができ、充填中の空気圧（目安値）を表示します。（最終操作後、約90秒で自動的に消えます。）

圧力ディスプレイボタン⑬を連続で押すことにより、圧力単位（psi、bar、kg/cm²）を変更することができます。

ディスプレイ表示（単位）　→ **PSI → BAR → KG/CM²** →

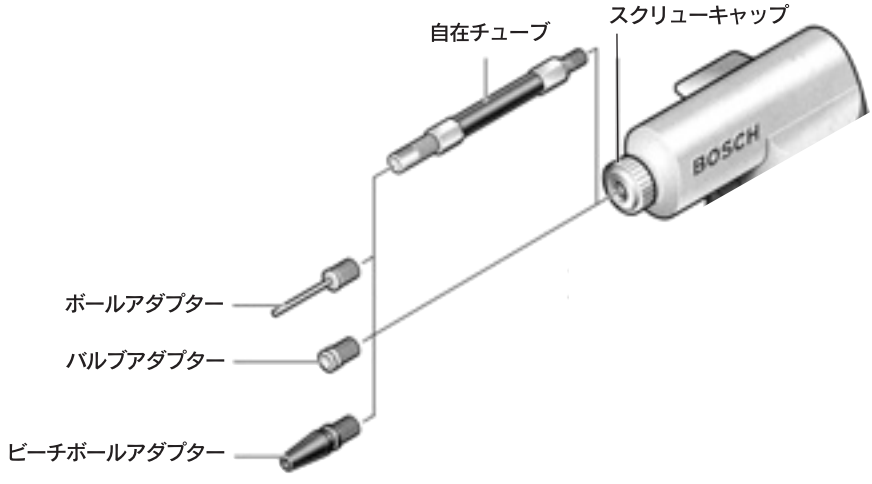
（1回押すごとに変更）

〈圧力ディスプレイのリセットの仕方〉

圧力ディスプレイ表示が Err 表示や、異常表示（スイッチ 切 状態で、数値が出ている）の場合には、先の尖っていないもの（ボールペン先など）でリセットボタン⑫を押してください。（強く押しすぎないように注意!!）
「カチッ」と音がして約5秒間押し続けると、0.00 表示に戻ります。

先端アクセサリーの取り付け・取り外し

⚠注 意 ： ● 安全ロックスイッチ⑥を必ずロック状態にして行ってください。
● 充填中スクリューキャップやアダプター類は絶対にゆるめないでください。



取り付け方

スクリューキャップをゆるめ（正面向かって反時計回りに１回転以上）、先端アクセサリー各種を差し込みます。
完全に押し込んだら、スクリューキャップを締めます（正面向かって時計回り）。

※ 自在チューブは、機体にアダプターを直接取り付けた状態では作業しづらい場所でおもに使用します。

⚠注 意 ： スクリューキャップは、しっかりと締めてください。
完全でないと空気が漏れ、噴射効率が低下します。

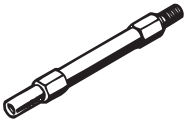
取り外し方

スクリューキャップをゆるめ、先端アクセサリーを引き抜きます。

作 業 の ヒ ン ト

● 車のタイヤへ空気を入れる場合

自在チューブを使用します。タイヤのバルブへ直接接続してください。



自在チューブ

⚠注 意 ： **作業後は必ず専門の空気圧測定器で空気圧測定を行ってください。**

● 自転車のタイヤへ空気を入れる場合

バルブアダプターを使用します。作業しづらい場合は自在チューブをバルブアダプターと機体の間に接続することによって作業が容易になります。

バルブアダプター

自在チューブ

但し、マウンテンバイクのタイヤバルブは、自在チューブのみを直接使用する場合があります。
自転車にそれぞれ合ったアダプターもしくは自在チューブを使用してください。

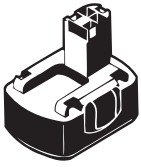
● 各種ボール等へ空気を入れる場合

ボールアダプターもしくはビーチボールアダプターを使用します。

ボールアダプター
（サッカーボール、
ドッヂボール等に使用）

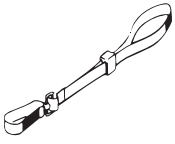
ビーチボールアダプター
（ビーチボール、浮輪等に使用）

ア ク セ サ リ ー

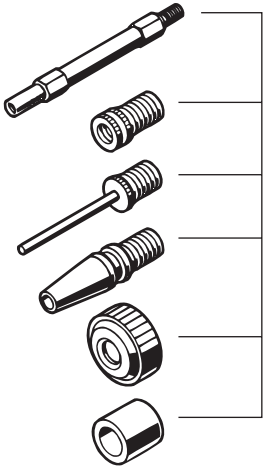


バッテリー 14.4V（標準付属）
注文番号：2 607 335 528 (1.2Ah)
2 607 335 534 (1.5Ah)
※ 別売品と標準付属品はバッテリー
容量が異なります。

充 電 器 （標準付属）
注文番号：AL 60DV1419



キャリングループ（別売）
注文番号：2 601 398 013



ノズルセット（標準付属）
注文番号：2 607 010 333
※ アダプター各種単品での販売は行って
おりません。

（セット内容）

・自在チューブ	1個
・バルブアダプター	1個
・ボールアダプター	1個
・ビーチボールアダプター	1個
・スクリューキャップ	1個
・ゴムパッキン	1個

メ ン テ ナ ン ス

- 機体の空気噴射口および、ノズル等はゴミやほこりなどが詰まらないように、いつもきれいにしておいてください。

- 通気口は、ゴミやほこり等が詰まらないように、いつもきれいにしておいてください。
  特に、屋外で使用する場合は、砂等が入らないように注意をしてください。

- 機体の汚れは、乾いた柔らかい布等で行ってください。ベンジン・シンナー等は変色等の原因となりますので使用しないでください。

- 常にご使用にならない場合はバッテリーを点検も兼ねて６ヶ月に１回は充電を行ってください。

故障かな？と思ったら

①まず取扱説明書をよくお読みください。
②次に症状が下記に当てはまるかどうかチェックしてみてください。

症　状	考えられる発生原因	対処方法
バッテリーを挿入しても充電器の緑ランプが点滅を開始しない。（充電を始めない）	→充電器とバッテリーの接点部の接触不良。 →バッテリーが熱い（冷たい）。	→接点部の清掃でゴミを除去。 →バッテリーが適正温度（0～45℃）範囲になるまで冷ましてください。
機体に充電済みバッテリーを接続してもスイッチが入れられない。	→機体の安全ロックスイッチがロック位置になっている。	→安全ロックスイッチをロック解除の位置にしてください。（P.11）
機体に充電済みバッテリーを接続しても動作しない。	→バッテリー自体の寿命がきている。	→バッテリーを交換してください。
空気がなかなか入らない。	→アダプター等が目詰まりしている。 →空気が接続部から漏れている。	→アダプター類を清掃する。 →アダプター及びスクリューキャップをしっかりと締め直す。
スクリューキャップを締めても空気が漏れる。	→スクリューキャップ内ゴムパッキンが消耗（劣化）している。	→ゴムパッキンを交換する。 ※ゴムパッキンはノズルセット（注文番号：2 607 010 333）に含まれます。（P.15）
圧力ディスプレイの表示が90秒たっても消えない。	→Err もしくは圧力表示のままになっている。	→リセットボタンを押す。（P.12）

③上記の①，②でもご不明の点につきましてはお買い求めの販売店もしくは弊社お客様相談フリーダイヤル（電話番号はこの取扱説明書の裏表紙に記載）までおたずねください。

修理を依頼するときは

- 修理を依頼されるときは、お買い上げの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターまでご相談ください。

- **この製品は厳重な品質管理の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。**
  弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

ボッシュ電動工具サービスセンター北海道
〒003-0873 北海道札幌市白石区米里３条２－６－33
TEL. 011－875－2388　FAX. 011－879－2138

ボッシュ電動工具サービスセンター
〒360-0107 埼玉県大里郡江南町大字千代字東原39
ゼクセルロジテック内
TEL. 048－536－7171　FAX. 048－536－7176

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本
〒890-0131 鹿児島県鹿児島市谷山港２－５－16
TEL. 099－262－3689　FAX. 099－210－8607

リ サ イ ク ル

電動工具本体の回収にご協力ください

ボッシュでは、使用済電動工具本体のリサイクル活動を推進しております。使用済電動工具本体の処理については、お買い求めになったボッシュ電動工具取扱販売店へご相談ください。

資源保護のため、環境保護のため、ボッシュの推進するリサイクル活動に是非ご協力くださいますようお願い申し上げます。

※電動工具本体の回収ーリサイクルは、ボッシュ製品に限らせていただきます。

バッテリーの回収にご協力ください

本機で使用しておりますニカドバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済バッテリーの廃棄に際しては、お買い求めになったボッシュ電動工具取扱販売店へご相談ください。

資源保護・環境保護のためのリサイクル活動に是非ご協力くださいますようお願い申し上げます。

※バッテリーは分解せず、またショート防止のため端子をテープ等で絶縁した状態でお持ちください。

Memo

Memo

Memo

仕　　様

本体仕様	
型式番号	**PAG 14.4V**
モーター電圧	DC 14.4V
許容最大空気圧	1MPa (10 bar)
最大空気量	14 ℓ/min
質量	1.4Kg
充電器仕様	
型式番号	**AL 60DV1419**
消費電力	44VA
充電時間	約50分
質量	1.2Kg

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がありましたら、お買い求めになった販売店、又は弊社までお問い合わせください。

BOSCH

ボッシュ株式会社　電動工具事業部

ホームページ： http://www.bosch.co.jp

〒224-8501 神奈川県横浜市都筑区牛久保3-9-1

お客様ご相談フリーダイヤル

0120-345-764

（土・日・祝日を除く午前10:00～12:00、午後1:00～4:00）

2 609 932 328 (04.09)

EMA-PAG 144V/ '03. 07. PA.